

優とぴあ

For You Day Service News!



社会福祉法人 奉優会
通所事業部 広報委員



奉優デイサービス

生活基盤（一般）型通所介護



Style for 優

生活支援（リハビリ）型通所介護



優っくりデイサービス

認知症対応型通所介護



Club for 優

自発的健康クラブ（介護保険外）

新卒入職式 & 新卒者インタビュー 福祉について語る！

広報委員会では【平成30年度 奉優会入職式】にいて参りました。今年の通所事業所に配属される新卒職員は4名。うち3名の新卒職員に広報委員会からいくつかインタビューをさせていただきました。



今の素直な気持ちは??

川田さん：長かった学生生活が終わり新社会人として、不安もありますが、一人暮らしも始まり、楽しみな面もあります。

酒井さん：もともと特別養護老人施設に希望していたのですが、平林部長に「通所事業部では幅広い外部の人ともかかわることが出来る」と言われ、勉強できる場として期待が高まっていて、とても働くのが楽しみです。

池田さん：デイサービスに務めさせていただくことになり、とても不安ですが、やりがいを見つけていきたいと思います。利用者様に寄り添っていく仕事ができるようになりたいです。

介護のイメージは??

三人：世間的なイメージとしてマイナスイメージが多く、ニュース等でもいいニュースよりも悪いニュースの方が多く耳にするように感じます。

実際に福祉について大学で勉強し、介護について皆が思っている以上に悪いイメージはありません。むしろ、世間の介護に対するマイナスイメージとは“介護に対する知識のなさ”ではないかと感じています。

介護のイメージ変化をするためにはより多くの人たちにこの仕事を知っていただくこと、“みんなが知らない介護の明るい部分”を周知していくことだと思います。

社会法人は地域貢献が一つのポイントとなりますがどんな地域貢献をして行きたいですか??

川田：国から地域の包括支援を進められているようにお祭りなどの行事ごとでの高齢者の世代間交流が必要だと感じています。お孫さんの年代が好きな高齢者の方が多いように感じており、様々な年代の人たちが一緒になって出来る場、企画を僕たちが、提供し、増やしていくことだと思います。



酒井さん：「わがことと丸ごと」という言葉を聞く事が多くそれについて大学在学中に勉強していました。現在の高齢者だけでなく、例えば自身の親の世代が高齢者になった時に何を求めているのかを想像しながら常に模索していくことだと思います。

私自身とてもツイッターを見るのが好きなのですが、今の40代~50代の方たちはフェイスブックを利用している事が多く、これからはSNS関係を充実させていくことに目をつけています。たとえば『奉優会 会員制アプリ』を作る事などができたらいいのではないかと思います。



これからの福祉(介護)はどんななってほしいですか??

川田：僕たちの世代はこれからどんどん発展していき、AIや様々なロボットが関わってくるようになるのではないかと思います。そういった機械に頼るだけではダメですが現状の福祉従事者がより負担が少なくなり、こういった発展に対応し、自分自身の質、福祉の質をあげていければと思います。

酒井さん：EPAの人達のような海外の方がこれから先、どんどん増えていくと感じます。そうした時に肌の色、髪の毛色など日本とは違う文化や過ごし方などを受け入れていく体制が今まだ不十分です。このまま孤立してしまうのを防ぐためにもっと異文化交流を受け入れていくべきだと感じ、それが人手不足の解消につながるのではと思っています。



池田さん：今の日本の人は介護に対して良いイメージをあまり持っていないと遠ざけているように思います。しかしそれでは自身の家族に介護が必要となった際に何から手をつけたいのだろうと何もわからないままです。そうではなくて福祉について小学校、中学校など10代のうちから関わる機会を積極的に取り入れ、知識を身に付けることが出来れば、皆で助けあう福祉(介護)が実現できるのではないかと思います。

インタビューー 池尻デイ 三好

事例研究発表会

2018年3月4日（日）、御茶ノ水ソラシティホールにて第10回事例研究発表会を開催しました。

約380名の観覧者の皆様の中、149事例の中から選りすぐられた14事例が発表されました。

奉優会は活力ある人材育成にむけ、事例研究発表会をはじめ、マニュアル大賞、マイスター大賞の表彰制度を実施しています。更に今年度は、日ごろ事業所で活躍している職員を表彰する優秀職員表彰や、長年法人に勤め、貢献している職員へ感謝の気持ちを込めて永年勤続表彰を実施いたしました。これらすべてを活用し、オープンで公平な風土作りに取り組んでいます。

今年度の事例研究発表会受賞作品は下記の通りです。

○最優秀賞：特別養護老人ホームかわいの家「ユニットケア選定施設への軌跡～わたしが私らしく居られる場所～」

○優秀賞：優っとり小規模多機能型居宅介護三軒茶屋「PPHP～三軒茶屋の広報活動が生んだ奇跡～」

○理事長賞：優っとりデイサービス喜多見

「『私も食べたい!!』～食べたい物を美味しく食べるために食べられる胃ろうへの挑戦～」

○常務理事賞：特別養護老人ホーム白金の森「自立支援推進委員会2年目の挑戦！～「歩く」を通して生活を豊かに～」

○審査員特別賞：高福事業部 事業評価プロジェクト「『住民主体型サービス』の実践による社会的効果～高福価値で社会保障費を削減～」



ipad 活用

ひがしデイサービスでは、平成29年9月よりipadの導入を開始しました。

介護保険ソフトウェア「ほのぼのNEXT」の【Care Palette（ケアパレット）】を活用し、ご家族様向け連絡帳や時間が増え、質の高い介護を行うことができました。ご利用者様一人一人の日々のケース記録を手書きからipadにてデータ化することで、フロア内で作成することができ、業務効率を図ることができました。その結果、ご利用者様と向き合う事が出来ました。



また、導入するまでには、操作に不慣れな職員もいた為、勉強会を開催し、理解を深めております。また、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、ipadにはカメラ機能が搭載されており、画質のきれいな写真を撮ることが出来ます。ひがしデイサービスでは、ipadのカメラ機能を活用してイベント時のプログラムを撮影したり、写真を編集してスライドショーにしてご利用者様に楽しんで頂いたりと様々な使い方しております

安全運転講習会

通所事業部では事業運営の核となる送迎業務において、ドライバー職員の安全運転への意識改革と運転技術向上を目的に年2回安全運転講習会を実施しております。

奉優会が運営する全通所事業所とグループホームや小規模多機能施設でご利用様を送迎する職員が一堂に会して学ぶこの講習会、すっかり法人全体の研修会としても定着しております。



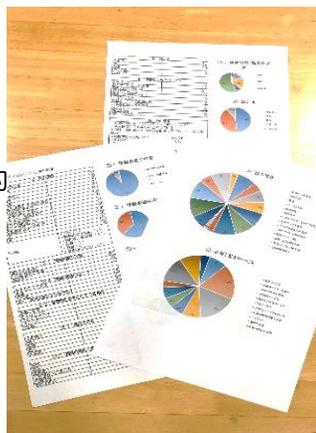
参加されたドライバー職員さんからは「改めて安全運転に対する心構えを見直せた」「他施設のドライバーさんと同じ悩みを共感出来た」「自分の運転の癖をはっきり認識出来た」等の声をいただきました。ドライバー職員個々の車両事故に対するリスク管理が備わる事が法人全体の車両事故減少に繋がっている事を再認識出来た講習会となりました。

ここ東京都杉並区の宮前ふれあいの家、日通自動車教習所を終日貸切にして、安全能力検定、専門業者による安全運転講義、リーダー層職員による事故報告書作成勉強会と運転手・添乗員の連携業務確認、そして実際の送迎車両を使用して運転実技講習という流れで終日学ぶ活気的な場であります。



満足度調査

通所事業部では、毎年「満足度調査」を実施しています。ご利用者様向けの「ご利用者様アンケート」とケアマネジャー様向けの「ケアマネジャーアンケート」の2種類を行うほか、定期的に「東京都福祉サービス第三者評価」を受ける取り組みも行っていきます。顧客満足度は、お客様からの期待と現実サービスの差異が数値化されたものであり、自事業所の提供サービスやマネーを振り返り、より一層満足度の高いサービス提供につなげることを目的としています。



しかし、調査を行うだけでは意味がありません。調査の結果をもとに、自事業所のサービス内容の向上を、何を・どのように・どのくらい行うのかを検討し実際のサービス提供につなげていく必要があります。

これからも各事業所、ご利用者様やケアマネジャー様に何を求められているのかをしっかりと把握・分析し、より良いサービスが提供できるようつとめて参ります。

～新課長のごあいさつ～



この度、鬼澤施設長の後任として「事業所責任者」という大役を仰せつかりました小宮でございます。就任にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

地域の皆様から親しみをもってもらえる、そして信頼される「田道認知症対応型デイサービス」の発展に、施設長として、微力ながら貢献できるよう邁進して参りたいと思っております。

今後とも、全職員が協力し「地域に貢献し、開かれた施設づくり」に努力してまいりますので、皆様からのより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、事業所責任者就任のご挨拶とさせていただきます。



～新年度のご挨拶～



法改正も行われ今年度は、通所にとって次期改正までの準備期間と捉えた運営を行っていく必要があります。

杉並板橋エリアでは、次の2点を最重要項目として取り組みます。先ず、高円寺への入浴設備導入や宮前へのiPad導入、各事業所への安心カメラ導入や目標達成報告書へのBI（バーセルインデックス）指標の導入など、環境づくりを強化していきます。

次に、順次法人の労務調査に入る年度となるので、各事業所の労働環境確認を行い、働きやすい職場環境にする為の取り組みを行っていきます。職員の計画的補充や育児休業者の復職支援、ノー残業日の達成や喫煙率の減少など、職員もご利用者も元気になる事業所運営を目指す年度としていきます。今年度もよろしくお願い致します。

杉並・板橋エリア統括課
平林

皆さまこんにちは。港、千代田、目黒、江東中央統括エリア課長の小宮山と申します。新年のご挨拶からあっという間に月日が流れ、今年度のご挨拶を受け賜りました。昨年度、当エリアでは、サービスの質向上に繋げる為、人材採用と育成を最重要課題として取り組みました。今年度より、体制強化を目的とした人事異動を予定しています。

各事業所で培った経験を活かし、配属先の事業所の発展に貢献出来るよう、面談、ミーティング等で、各職員と計画を練り、事業部が掲げる「生活基盤」、「役割支援」、「医療重度対応」に邁進致します。

港、千代田、目黒、江東中央統括エリア課長
小宮山

新たに平成30年度がスタート致しました。4月から介護保険の大きな改正がありますが、リハビリ・生活支援・認知症予防などをより効果的に、デイサービスとしてお役に立てるよう努めていきたいと考えています。

バーサルインデックスを用いたアウトカム評価によるADLの低下予防・維持を進めていきます。また、ご利用者が主催するイベントを増やしていく事で、高齢者の活性化・社会参加の機会・地域活性の創造を目指していきます。

ご利用者が住み慣れた地域で安心して、心身健康に活力ある生活を続けて頂けるよう、私達は地域の皆様と連携しながら支援を続けていきます。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

通所事業部 渋谷・中野統括課
安藤

エリア事業所は、横浜市緑区の霧が丘地域ケアプラザデイサービス・川崎市久末デイサービス・世田谷区等々力・野沢・奥沢・池尻・認知症対応型デイの喜多見の全7事業所に加え昨年9月に新たに横浜市都筑区センター北に8事業所目となるデイサービスをオープンさせていただきました。

ますます在宅サービスの需要が高まる中、住み慣れた在宅で安心して在宅生活が継続できるよう、生活を支える直接的なサービス、楽しみや生きがいを持つ心に響く間接的なサービスをしっかりと融合し神奈川・世田谷エリアでは通所介護・認知症通所介護・介護予防となる地域貢献事業（体操事業や介護者教室・カフェ・多世代交流）を継続的に発展させていながら提供をさせていただきます。今年度もよろしくお願い致します。

神奈川・世田谷エリア統括課長
窪田

【編集後記】

寒さの厳しい冬から、だんだんと暖かく過ごしやすい春になってきましたね。今年の桜は開花が早く、場所によってはもう葉桜になっているところもあります。優とびあ20号では奉優会の一大行事の【事例研究発表会】についての特集と今年度から共に奉優会の一員となる新入社員の入社式について特集させていただきました。次号は7月初旬に発行予定となっております。今年度も尽力してまいりますので広報委員会一同を宜しくお願い致します。

【奉優会 通所事業部 広報委員会】